

【しぜん・感動・体感「日本のふるさと」高千穂づくり計画】変更申請 新旧対照表

新	旧
<p>1. 地域再生計画の名称 (略)</p> <p>2. 地域再生計画の作成主体の名称 (略)</p> <p>3. 地域再生計画の区域 (略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>高千穂町は九州のほぼ中央部、宮崎県の最北端に位置し、総面積23,732haのうち森林面積が19,745haで全体の約83%をしめている。町の中心部を九州山脈に源を發した五ヶ瀬川が西北から南東にかけて貫流し、途中に存在する名称天然記念物高千穂峽が神秘的かつ雄大に大自然を創出している。</p> <p>また、県内外に「神話と伝説の里、峡谷のまち」として知られており、町内には高千穂神社や天岩戸神社などの観光資源が多く点在し、東国原知事の就任効果もあり近年年間100万人を越える観光客が訪れるようになり宿泊客の数も多少増加傾向であるが一時的なものと考えられる。しかし、「ひむか神話街道」「フォレストピア六峰街道」の開通に伴い、自然を求めて訪れる観光客やリピーター等は、依然増加傾向にあり、その中で、豊かな自然に囲まれた「四季見原すこやかなの森キャンプ場」は宿泊客を受け入れる重要な観光資源になっている。しかしながら、それらの観光資源にアクセスしている町道及び林道は、山間部特有の幅員が狭く、急勾配、急カーブであり、場所によっては、未舗装の箇所もあり、災害時には通行できなくなるほど安全面はもとより観光客の受け入れに支障をきたしている。</p> <p>さらに、恵まれた自然環境を活かした農林業が盛んであるが、近年の一次産業を取り巻く情勢の変化に加え、高齢化・兼業化の進展、担い手不足による耕作放棄地の増加や手入れ不足の森林がみえはじめ</p>	<p>1. 地域再生計画の名称 (略)</p> <p>2. 地域再生計画の作成主体の名称 (略)</p> <p>3. 地域再生計画の区域 (略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>高千穂町は九州のほぼ中央部、宮崎県の最北端に位置し、総面積23,732haのうち森林面積が19,745haで全体の約83%をしめている。町の中心部を九州山脈に源を發した五ヶ瀬川が西北から南東にかけて貫流し、途中に存在する名称天然記念物高千穂峽が神秘的かつ雄大に大自然を創出している。</p> <p>また、県内外に「神話と伝説の里、峡谷のまち」として知られており、町内には高千穂神社や天岩戸神社などの観光資源が多く点在し、東国原知事の就任効果もあり近年年間100万人を越える観光客が訪れるようになり宿泊客の数も多少増加傾向であるが一時的なものと考えられる。しかし、「ひむか神話街道」「フォレストピア六峰街道」の開通に伴い、自然を求めて訪れる観光客やリピーター等は、依然増加傾向にあり、その中で、豊かな自然に囲まれた「四季見原すこやかなの森キャンプ場」は宿泊客を受け入れる重要な観光資源になっている。しかしながら、それらの観光資源にアクセスしている町道及び林道は、山間部特有の幅員が狭く、急勾配、急カーブであり、場所によっては、未舗装の箇所もあり、災害時には通行できなくなるほど安全面はもとより観光客の受け入れに支障をきたしている。</p> <p>さらに、恵まれた自然環境を活かした農林業が盛んであるが、近年の一次産業を取り巻く情勢の変化に加え、高齢化・兼業化の進展、担い手不足による耕作放棄地の増加や手入れ不足の森林がみえはじめ</p>

た。これらの問題点は、生産基盤整備の不備によるところが大きく、
しいては道路網の整備不足によるところも要因の一つである。よっ
て、道路網の整備をすることにより高性能農業・林業機械の導入によ
る作業の合理化及び効率化を図るとともに生産コストの低減及び労力
の軽減を図っていくものとする。

併せて、地形的に急峻であるため台風等の災害が発生するたびに路面洗堀や崩土、路肩決壊等により道路が寸断され集落が孤立することが頻繁に発生しているが、東日本大震災を契機に林道は、災害時の迂回路や避難路としての機能が非常に高いことが再認識された。

このため、町道及び広域農道・林道の効率的な整備及び水稻、茶、
園芸等の新しい特産品づくりにより、観光客の受け入れと農林業の振
興、地域の道路ネットワークの構築を図り、中山間地域の再生を目指
す。

(1) 観光基盤の整備

(略)

(2) 農林業基盤の整備

(略)

(3) 道路網の整備

町道については、集落間を結ぶ道路および幹線道路の代替道路とし
て、または、集落から中心部拠点施設へのアクセス道路として改良を
中心に効果的な整備に努める。併せて、年間切れ間のない観光シーズ
ンに渋滞等を繰り返していた観光地への連絡道も効率的に整備する。

広域農道については、各方面への農畜産物等の輸送はもちろん、地
域間の交流や活性化に大きく貢献することが考えられる路線であるこ
とから早急に整備を進める。

林道については、大型機械の導入や作業道路の整備によるコスト低

た。これらの問題点は、生産基盤整備の不備によるところが大きく、
しいては道路網の整備不足によるところも要因の一つである。よっ
て、道路網の整備をすることにより高性能農業・林業機械の導入によ
る作業の合理化及び効率化を図るとともに生産コストの低減及び労力
の軽減を図っていくものとする。

このため、町道及び広域農道・林道の効率的な整備及び水稻、茶、
園芸等の新しい特産品づくりにより、観光客の受け入れと農林業の振
興、地域の道路ネットワークの構築を図り、中山間地域の再生を目指
す。

(1) 観光基盤の整備

(略)

(2) 農林業基盤の整備

(略)

(3) 道路網の整備

町道については、集落間を結ぶ道路および幹線道路の代替道路とし
て、または、集落から中心部拠点施設へのアクセス道路として改良を
中心に効果的な整備に努める。併せて、年間切れ間のない観光シーズ
ンに渋滞等を繰り返していた観光地への連絡道も効率的に整備する。

広域農道については、各方面への農畜産物等の輸送はもちろん、地
域間の交流や活性化に大きく貢献することが考えられる路線であるこ
とから早急に整備を進める。

林道については、大型機械の導入や作業道路の整備によるコスト低

減を図る観点から、幹線となる林道の開設や既計画路線の改良事業継続を図り、また、自然を求めて訪れる観光客のアクセス道あるいは代替道路として位置づけられている路線もあることから、開設及び改良・舗装整備に努める。

(目標1) 観光業の振興

(宿泊客の増 約 2.0%)

161,600 人 (H20) → 165,000 人(H27)

(観光客入込数の増 約 2.0%)

1,496,500 人(H20) → 1,526,500 人(H27)

(目標2) 農林業の振興

(間伐実施面積の増 約 11.5%)

2,166ha(H20) → 2,490ha(H27)

(耕作放棄地の減 50%)

11ha(H20) → 5.5ha(H27)

(目標3) 道路ネットワークの確保

町道整備による集落間・拠点施設へのアクセス改善

(目的地まで平均 5 分短縮、渋滞緩和、安全確保)

広域農道整備による農畜産物等の輸送路改善

(資材や農産物の輸送時間平均 10 分短縮)

林道整備による伐採木の輸送路改善

(継続路線で法面改良・舗装を実施しているが、林道開設から期間が経過しており法面の風化・崩壊、路面洗堀が著しい)

5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

地域森林計画に記載されている「林道 黒原・煤市線」「林道 親父

減を図る観点から、幹線となる林道の開設や既計画路線の改良事業継続を図り、また、自然を求めて訪れる観光客のアクセス道あるいは代替道路として位置づけられている路線もあることから、開設及び改良整備に努める。

(目標1) 観光業の振興

(宿泊客の増 約 2.0%)

161,600 人 (H20) → 165,000 人(H27)

(観光客入込数の増 約 2.0%)

1,496,500 人(H20) → 1,526,500 人(H27)

(目標2) 農林業の振興

(間伐実施面積の増 約 11%)

2,166ha(H20) → 2,404ha(H27)

(耕作放棄地の減 50%)

11ha(H20) → 5.5ha(H27)

(目標3) 道路ネットワークの確保

町道整備による集落間・拠点施設へのアクセス改善

(目的地まで平均 5 分短縮、渋滞緩和、安全確保)

広域農道整備による農畜産物等の輸送路改善

(資材や農産物の輸送時間平均 10 分短縮)

林道整備による伐採木の輸送路改善

(継続路線で法面改良を実施しているが、林道開設から期間が経過しており法面の風化・崩壊が著しい)

5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

地域森林計画に記載されている「林道 黒原・煤市線」「林道 親父

山・五ヶ所線」「林道 上山線」「林道 烏帽子岳線」「林道 道元越線」の整備をすることにより、高性能機械等の搬入が容易になり経営基盤整備と生活環境改善に大きな役割を果たすこととなり、また、観光資源（四季見原すこやか森キャンプ場）へのアクセス道の整備につながるため早急な対応をすることとする。

また、「町道 高千穂峡線」「町道 神殿～花の木平線」「町道 葛原～坂の下線」「町道 下押方線」「町道 八幡～堺野線」については、利便性と快適性の確保された道路整備を行う。当該路線は、急峻な地形に加え幅員が狭小な箇所が多く、近年の観光客増加に伴う安全性確保や、拠点施設等へのアクセスに支障をきたしてきた。このため、景観に配慮する形で線形改良と拡幅舗装を実施し、通行の安全性の向上と公共施設等への時間短縮、物流効率化につながるため整備することとする。

さらに、「広域農道 西臼杵地区」は農畜産物の集出荷、営農の効率化はもちろん、生活道路としての地域間の交流や活性化に大きく貢献しており地域住民の要望も強いいため早急に整備したい。

農林業については、生産性の向上、労働環境整備のため作業路網の整備や関係機関との連携を図るとともに、県の西臼杵支庁や総合農業試験場とともに、高温耐性のある良食味米や酒米等の新需要米や釜炒茶など中山間地域の特性を活かせる新しい茶、ランタンキュラスの生産コスト低減や難防除妨害対策の普及に取り組み、担い手の育成に取り組んでいく。

さらに、通過型観光から滞在型観光確立のため、地域と連携した形の体験型交流の創出と観光資源の整備を行っていく。

（５－２）法第五章の特別の措置を適用して行う事業
道整備交付金を活用する事業

山・五ヶ所線」「林道 上山線」「林道 烏帽子岳線」「林道 道元越線」の整備をすることにより、高性能機械等の搬入が容易になり経営基盤整備と生活環境改善に大きな役割を果たすこととなり、また、観光資源（四季見原すこやか森キャンプ場）へのアクセス道の整備につながるため早急な対応をすることとする。

また、「町道 高千穂峡線」「町道 神殿～花の木平線」「町道 葛原～坂の下線」「町道 下押方線」については、利便性と快適性の確保された道路整備を行う。当該路線は、急峻な地形に加え幅員が狭小な箇所が多く、近年の観光客増加に伴う安全性確保や、拠点施設等へのアクセスに支障をきたしてきた。このため、景観に配慮する形で線形改良と拡幅舗装を実施し、通行の安全性の向上と公共施設等への時間短縮、物流効率化につながるため整備することとする。

さらに、「広域農道 西臼杵地区」は農畜産物の集出荷、営農の効率化はもちろん、生活道路としての地域間の交流や活性化に大きく貢献しており地域住民の要望も強いいため早急に整備したい。

農林業については、生産性の向上、労働環境整備のため作業路網の整備や関係機関との連携を図るとともに、県の西臼杵支庁や総合農業試験場とともに、高温耐性のある良食味米や酒米等の新需要米や釜炒茶など中山間地域の特性を活かせる新しい茶、ランタンキュラスの生産コスト低減や難防除妨害対策の普及に取り組み、担い手の育成に取り組んでいく。

さらに、通過型観光から滞在型観光確立のため、地域と連携した形の体験型交流の創出と観光資源の整備を行っていく。

（５－２）法第五章の特別の措置を適用して行う事業
道整備交付金を活用する事業

(略)

- ・町道：道路法に規定する町道に認定済み。

神殿～花の木平線：昭和 63 年 3 月 29 日

下押方線：昭和 45 年 6 月 26 日

高千穂峡線：平成 3 年 3 月 27 日

葛原～坂の下線：昭和 40 年 3 月 23 日

八幡～堺野線：大正 10 年 6 月 21 日

- ・広域農道：事業計画については土地改良法に基づく手続きを行い、平成 14 年 5 月 1 日に確定している。

西臼杵地区

- ・林道：森林法による五ヶ瀬川地域森林計画(平成 21 年樹立)に路線を記載。

黒原・煤市線

親父山・五ヶ所線

上山線

烏帽子岳線

道元越線

[施設の種類 (事業区域)、実施主体]

- ・町道 (高千穂町) 高千穂町 5 路線とも認定路線
- ・広域農道 (高千穂町) 宮崎県
- ・林道 (高千穂町) 宮崎県・高千穂町 5 路線とも地域森林計画に記載

[事業期間]

(略)

[整備量]

- ・町道 L=1.46km、広域農道 L=0.59km、林道 L=7.22km

(略)

- ・町道：道路法に規定する町道に認定済み。

神殿～花の木平線：昭和 63 年 3 月 29 日

下押方線：昭和 45 年 6 月 26 日

高千穂峡線：平成 3 年 3 月 27 日

葛原～坂の下線：昭和 40 年 3 月 23 日

- ・広域農道：事業計画については土地改良法に基づく手続きを行い、平成 14 年 5 月 1 日に確定している。

西臼杵地区

- ・林道：森林法による五ヶ瀬川地域森林計画(平成 21 年樹立)に路線を記載。

黒原・煤市線

親父山・五ヶ所線

上山線

烏帽子岳線

道元越線

[施設の種類 (事業区域)、実施主体]

- ・町道 (高千穂町) 高千穂町 4 路線とも認定路線
- ・広域農道 (高千穂町) 宮崎県
- ・林道 (高千穂町) 宮崎県・高千穂町 5 路線とも地域森林計画に記載

[事業期間]

(略)

[整備量]

- ・町道 L=1.16km、広域農道 L=0.59km、林道 L=5.66km

[事業費]

・総事業費 3,107,445 千円 (うち交付金 1,558,222 千円)

町道 313,795 千円 (うち交付金 156,897 千円)

広域農道 1,916,000 千円 (うち交付金 958,000 千円)

林道 877,650 千円 (うち交付金 443,325 千円)

(5-3) 支援措置によらない独自の取組

(略)

①道路網の整備 (高千穂町)

高千穂町において町道及び広域農道、林道は、集落間を結ぶ主要道路であり、また、観光資源へのアクセス道路となっているため開設及び改良・舗装事業に取り組み、道路網の整備を行う。

②農林業基盤の整備 (高千穂町・J A高千穂地区)

(略)

③観光基盤の整備 (高千穂町)

(略)

6. 計画期間 (略)

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項 (略)

8. その他地方公共団体が必要と認める事項 (略)

[事業費]

・総事業費 3,084,950 千円 (うち交付金 1,568,892 千円)

町道 320,000 千円 (うち交付金 160,000 千円)

広域農道 1,916,000 千円 (うち交付金 958,000 千円)

林道 848,950 千円 (うち交付金 450,892 千円)

(5-3) 支援措置によらない独自の取組

(略)

①道路網の整備 (高千穂町)

高千穂町において町道及び広域農道、林道は、集落間を結ぶ主要道路であり、また、観光資源へのアクセス道路となっているため開設及び改良事業に取り組み、道路網の整備を行う。

②農林業基盤の整備 (高千穂町・J A高千穂地区)

(略)

③観光基盤の整備 (高千穂町)

(略)

6. 計画期間 (略)

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項 (略)

8. その他地方公共団体が必要と認める事項 (略)